

学 科	保育臨床専攻	担 当 教 員	木戸 啓子		
授 業 科 目	親子支援演習		科目区分	専門科目	2 単 位
必修・選択	必修	授業形態	演習	開 講 時 期	1 年次・通年
授業の主題 目 標	<p>(授業の主題) 親子交流施設の場に継続的に関わることで、親子支援の進め方を理解する。また、自らが計画-実践-評価を行い、親子交流広場の運営・管理に関わる具体的知識・技術、職員の連携のあり方について理解する。</p> <p>(到達目標) 親子と交流することで、親子交流のあり方、子育て支援の方法と課題を理解する。</p>				
授業の内容 進 め 方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 親子交流施設の理解 (1) 親子交流広場を観察し、親子の姿を把握する。 2. 親子交流施設の理解 (2) 親子交流広場を観察し、支援者の役割を理解する。 3. 親子交流施設の理解 (3) 親子交流広場を観察し、親子の様子からケースカンファレンスを行う。 4. 親子交流施設の理解 (4) 親子交流広場での演習課題を検討する。 5. 親子支援のプログラム立案 (児童文化財) 6. 親子支援のプログラム (児童文化財) の展開 7. 親子支援のプログラムの展開 (児童文化財) に関わる事後評価 8. 親子支援のプログラム立案 (ふれあい遊び) 9. 親子支援のプログラム (ふれあい遊び) の展開 10. 親子支援のプログラムの展開 (ふれあい遊び) に関わる事後評価 11. 親子支援のプログラム立案 (表現) 12. 親子支援のプログラム (表現) の展開 13. 親子支援のプログラムの展開 (表現) に関わる事後評価 14. 親子交流広場での演習課題の総括を行う。 15. 中間まとめ 親子支援の振り返りを行う。 16. 子ども家庭福祉の制度の理解 17. 子育て支援における連携の必要性 18. 子育て支援における基本的視点 (1) 親子の視点 19. 子育て支援における基本的視点 (2) 社会の視点 20. 地域子育て支援拠点の成り立ち 21. 地域子育て支援拠点の制度上の位置づけ 22. 地域子育て支援拠点ガイドラインについて (1) 基本的な考え方 23. 地域子育て支援拠点ガイドラインについて (2) 支援者の役割 24. 地域子育て支援拠点ガイドラインについて (3) 子どもの遊びと環境 25. 地域子育て支援拠点ガイドラインについて (4) 親との関係性 26. 地域子育て支援拠点ガイドラインについて (5) 受容と自己決定 27. 地域子育て支援拠点ガイドラインについて (6) 運営管理と活動の改善 28. 地域子育て支援拠点ガイドラインについて (7) 職員同士の連携と研修 29. 地域子育て支援拠点における課題 30. まとめ <p>定期試験は実施しない</p>				
実務経験を 活かす内容					
テ キ ス ト 教 材	渡辺顕一郎・橋本真紀「地域子育て支援拠点ガイドラインの手引き」中央法規 厚生労働省「保育所保育指針解説」フレーベル館 ※ 参考図書の提示や資料配布などは、授業の中で適宜行う。				
準備学習の 具体的内容	実際に親子交流施設“倉短ひろば くららっこ”での実践を伴うため、日常的に子育て支援の話題に触れ、積極的な姿勢での参加が望まれる。				
評価の方法 基 準	親子交流広場への積極的参加態度 (20%) プログラムの計画及び実践 (30%) 自己評価能力 (30%) 最終レポート (20%)				
履 修 上 の 注 意	親子交流広場“倉短ひろば くららっこ”への日常的な参加観察を心がける。				